

DOKU-GAKU 掲示板

今日 10 月 10 日。中日の優勝がついに決まってしまいました。

12 日の甲子園でもう一波乱の夢は叶えられませんでした。

今年は追う側となった我が阪神タイガースは
もうダメだという状況を幾度となく信じられない粘りで切り抜け
あと残り三試合というこの時期までファンをめちゃくちゃ楽しませてくれました。

8 月 27 日から 24 勝 5 敗 1 分けの快進撃で中日を猛追。

その日藤川球児がお立ち台で見せた涙。

9 月 27 日、不調の井川が完投直後にぬぐった涙。30 日、対中日戦で逆転された福原が噛み締めた唇。

赤星、関本、シーツ、鉄人アニキ、浜ちゃん、鳥谷、矢野、藤本・・・ヒーヤンも今岡も……

優勝した昨年より思い出深い場面がたくさんたくさんありました。

奇跡の逆転優勝を見たかった気もしますが、そんなにうまくまとまらないのもヨシとしましょう。

Tomy Jr. さん中日優勝おめでとう。

その日その瞬間東京ドームにいるなんて、ずいぶんずるいんじゃない？って気がするけどねー。

Tomy Jr.

DOKUGAKU 拝受。賞品もありがとうございました。

早速、チビ星君（※DG 註 1）にあげたら「おー、これいいね、いいねー！」と大喜びでした。

ただし、今日の試合（※DG 註 2）に関しては、途中までヤクルトファンの兄貴を「やーいやーい、へへへーっ」とからかってはしゃいでいただけに、次男につられて阪神を応援している家内と一緒に PC を開いて「え、うそ、まじ？」と悲惨な結末に絶句し、それを知った長男に「はっはっは！ばーかばーか」と逆襲され「つもう、江草、痩せるまで二軍落ちだ！能見より嫌いになった！」とおかんむりでした。

※1 Tomy Jr. さんの赤星ファンの次男くん

※2 2006 年 8 月 18 日（金） 11-12 で阪神の逆転負け。

3 回表までに阪神が 8 点リード。こりゃいただきと誰だって思いますよ。でもね、粘りのヤクルトに 9 回にはとうとう同点にされ、ウィリアムスが 2 アウト満塁から青木にフォアボールを与え、押し出しサヨナラされちゃったという悪夢のような試合でした（泣）



T I C A

「ビーズな毎日」と「17文字」と「企画」を編集していると思うことがあります。何度も目を通してあるから出来上がったときに、新鮮さがまるでないんですね。私でこうなんだから、殆どの編集をしているCACCOはもっとそうだなと。

それで“楽しみ”というのが発行後のみなさんの反応に尽きると思うわけです。いつも私は電話やメールでお気楽に感想を伝えていましたが、たまには感想を書くことにしました。でも、これがCACCOの楽しみになるかというところまで違うなあ。

「矢澤さん企画・幸不幸論」

個性あふれるDG会員が同じテーマで「書く」ことをすると、本当に特徴が出て楽しい。

「執筆者の素顔（うさおの巻）」

DGが届いたときにぱらぱらとみたら目に飛び込んで来た、見たことのある人の写真。

なんと自分の遙か昔の写真ではないか！よくもよくも無断で載せたな〜あ(´へ´)

とCACCOに苦情を申し立てたところ、「あたしはt i c aちゃんに断ろうと思ったのよ、でもねでもねうさおさんが、t i c aちゃんにいうと載せちゃだめっていうからあん、ぼよぼよ」って。冷静に見直したら、まあ、細いからいいかと許した。でもね、あたしはレイザーラモンうさおさんみたいに出たがりじゃないんだから。プリプリ

「テレカコレクション」

健ちゃんの金銀のくちばしの当たる確率って異常じゃない？あたしも幼少の砌、何度か買ったことがあるけど、銀色がでたことがあるっていうくらいで5枚も集まらなかった。

全部、くじ運がある人のところに流れて行ってたのねえ。

ところで、穴があいてるテレカがあるけど、これって使ってるってことだよな？

素人眼には価値があるように見えるものまで使用されてる。

これってテレカとしての価値が低いから使ったの？それとも電話代がなくなったの？

写真の並びを見てるとCACCOの好きなものがよくわかるね。仲間由紀恵や優香は十把一絡げで、萩尾望都さんやアトムやキョロちゃんが鼻唄されてる。そりゃもつともだ。コアラのマーチが一番可愛かった。健ちゃんがくれるっていうなら、これだな。

「17文字の叙情詩」

前回の句の『羅』に送り仮名を頼んだのは私です。『羹』なら知ってたんだけどね、と負けず嫌いな言い訳です。17文字を作るのには日本語を大事にしてないとだめだなと思います。が、今回また「フレブルってなに？」と聞いたのも私です。文章を書くのはカタカナ語も強くないとだめだなと思います^_^; y u k oさんって趣味の俳句と日本舞踊と外見がぴったりで、夏でも汗かかないわよという日本の女って感じ。

「東海道は道じゃない」

普通なら（自分は普通と思ってるわけで・・・）なんでもないことにひっかかる。まるで『相棒』の右京さんみたい。視野が広いんだなあと思います。小学校の社会科の授業がこんな話で始まったら楽しいですよ。

「photo essay」

気がつけばおばさんになっていた私ですが、おばさんになっていいなあと思うのは、他人への親切が自然に出来てしまう事。一般に、凶々しいことがおばさんの特徴みたいに言われていて、まあ納得するけど、凶々しくなることで困っているように見える他人に声をかけたり出来るようになり、年をとるってのもそう悪い事じゃないなともうちょっと若い頃には思いました。これからは、自己満足に終わらないような親切をしたいと自分に言い聞かせます。(実は親切という言葉は嫌いなんですけど、「世話」というほど世話好きじゃなし、うまい言葉が見つからなかったの仕方なく。)

ところで、畑山容疑者は精神を病んでいるのではないかと思えるけど、悲劇のヒロインになりたがる人って知り合いにもいました。勿論犯罪は起こしてはいないけど。

「ビーズな毎日」

これこそ自己満足の世界。読んでいる人は興味を持ってきてるのかなあと気になる事もあるけど、そこはDG、好きなことをすればいいんだからいいんだよね。以前うさおさんがビーズがいつまで続くかと心配してたけど、どうやら一生の趣味になったから大丈夫みたいですよ。

「遅れて来た人」

DGの人はお話作りが好きな人が多いですよ。私も前にこのタイトルでシナリオ書いたのを思い出します。「執筆者」がそろそろ一周するので、その次はタツオトさん企画のラリー小説を予定しています。勿論トップバッターはタツオトさん、お願いしますね。

「ご近所トマソン隊かなあ」

うさおさんはDGをやって一番恩恵を受けていますね。グリコの廃線マニアの跡を継ぎ、取材と称しCACCOと二人仲良くデートして、由佳ちゃんちにはお泊まりし、俳句の趣味も増えて、まあほんと羨ましい。

私は高田渡さんのLPは多分持っていません。高田渡は返ってうさおさんのイメージです。私は、加川良、拓郎でした。そういや、このまえ衛星放送で加川良を特集してました。あまり笑わない感じだったのがすっかり穏やかなおじさんになっていました。高田渡さんの歌も歌ってました。♪歩きいつかあれてはあ…と思わずおっかけて歌ってました。昔から拓郎たちとは一線を引いていた加川良は今でもフォーク歌手でした。

「韓国ドラマノススメ」

ごめん。韓流の話はどうにもついていけない。

「表紙は語る」

CACCOはお気に召さないようだけど(暗くないからね)『箒星』いいじゃない。歌詞でその人の幸不幸の状態がわかるなんて、そりゃ異常だ。それにしても、よく場所を探せるね。ネット情報があるの?いつも寒心しちゃう。あ、また変換間違えちゃったあ。

「掲示板」

私はここから読み始めます。甘い意見はくすぐるね。おっといけない、辛口コメントも待

ってるんだった。今回、映画クイズの答えが見事にはずれたのに景品頂いちゃいました。かずくん、ありがとうございます。私はこのコーナーが大好きです。

タツノオトシゴさんが悩んでる「よんじげん」のこと。印刷ミスが悩ませてしまった原因です。ごめんなさい。でも一番悪いのは「よんじげん」なんてややこしいアルバムタイトルにしたSクンです。

絨毯織るのも 25 歳まで？それ以上だとかさかさ？つーん、絨毯なんて織らないからいいもんねー！と開き直っていたとペルシャの人にお伝えください。

y u k o

Cacco さん TICA さんのビーズな毎日、TICA さんのコメントも面白いし作品にもすごい～！と感嘆です。YUKA さんのビーズもそろそろ復活かな？楽しみにしています。

健さんのテレカには毎度のごとく驚かされますが

やっぱりテーマ別に収納しているのでしょうか？ファイルケースとかアルバムみたいにしてあるのですか？

矢澤さんの好奇心漫遊記、面白かったです。

北海道と東海道は一字しか違わないのに…あ・・そうか、そうだよな。

「道」の本質、少しわかりました。

タツノオトシゴさんの脚本風の宿題、最後であ～そうなのかと、少しホロリですね。

うさおさん、素顔もトマソン隊も相変わらず楽しかったです。

「素顔」に俳句があってにんまりです。僭越ながら添削のみ・・

風鈴の音涼やかにペんとりて	* 風鈴の音の真中でペンを取る
起きてなおうつが夢の雲流れ	* 起きてなお現が夢の秋の雲
親の顔家路の遠い夏の夕	* 家路にも親にも遠く夏の夕
ぼつねんと悠久のときを夏館	すごく良いです。添削の必要なしです

うさお

「企画 幸不幸論」

これは絶対矢澤さんの独断場、幸福に関する意気込みが違うぞ。縁辺意識を持って社会の片隅でいじいじしているうさおなんかとは一線を画すね。それなりに幸福を考えたんだけど、やはり頭で考えたこと、切に幸福になりたいって思いを強く持たなくっちゃね。

「執筆者の素顔 うさお」

いやあ、そうだったんだ、知らなかったなあ。彼の人となりは。結構、善い人ジャンねえ、うさおさんって。それにしても色々なことに興味を持つけど直ぐ飽きちゃうところが難点だな。Cacco も Tica さんも若いときの写真出しちゃって悪かったね。(けけけっ、毛ほども思っちゃ居ないところがうさお流さっ！)

「テレカコレクション」

テレカって出来たときから、野球の選手カードのようにマニアの格好の餌食になるなあ

と思っていたら、正にそうだったね。このアイドル写真も微妙にバージョンの違うものがあって、それを全部集めなくちゃいけないってところがコアだね。出来れば掲載したアイドルの名前を列挙してくれればもっといいな。

「17文字の抒情詩」

ええ、実はうさおもどちらかと言えば、執筆者の素顔に乗せた句のほうが好きです。昔を思い出して詠んだ方が、より思いが強くなるってことありますか？

「好奇心漫遊記 東海道は道じゃない」

紀勢線の仕事で行ったときに四日市で矢沢さんと同じことを感じました。東海道の街道はなぜこんな方向に迂回していくんだろう？（ああ、ややこしい。）元の熊野参道に沿っては、分離して紀勢線が走っているんだよね。やっぱり疑問点が残るなあ。

「フォトエッセイ 善意の仮面」

今の世の中、やたら社会正義を振りかざしている輩が多すぎる。談合問題もそうだったけど、発注サイドとしては技術的ポテンシャルを保つ良い手段でした。（それだけの技術を持ったところが指名に入っていましたから。今は Internet で誰でもが入札できるので、値段だけ安い、訳の判らん業者が入ってくるので、発注者はどきどきしています。）

「ビーズな毎日」

何だか最近、素朴なビーズの本道から外れているように感じるのは気のせいでしょうか。どんどんアクセサリィ指向で行くんでしょうか。ビーズは買い物袋とか、靴入れとか少し田舎くささが残るのが味なんじゃあ…

「心理学シリーズ 人間嫌い」

あれ、タツオトさんの深層心理的な写真を期待したんだけど、烏賊にイサキ？…最後の女の子の写真だけだなあ。物語を感じるのは。手を抜いちゃあだめですよ。

「ご近所トマソン隊かなあ 縁辺の人」

縁辺理論は 30 歳代にきっかけを得たもの。人と比較することで、何故自分はAより評価されないんだろう。何故Bの方が自分より上と思われるのに認められないんだろう。縁辺意識はあくまでもそのような相対意識下の感情であり、絶対意識下のものではない。

「韓国ドラマノススメ」

戦争映画だからB級なので、うさおの趣味に良く合う。それまでの日本の戦争映画は戦車や飛行機のミニチュア特撮映画であり、実物を使うものは数少なかった。韓国映画は兵役がある所為か、やけに銃の扱いなんかがリアルだったね。

「表紙は語る」

すいません。Cacco が考えること、5分。出来上がったのがこの作品。時間で作品の良し悪しが決まる訳じゃないけど、もっと熟慮しなくちゃねえ。（一ー；）

「ミスチルばがぼんど」

カルフルにおける駐車場のサインについては、いづれ別項にてご報告したいと思っております。ヒントはベジタブル！

企画TICAさんからお知らせです。

次回企画は「あなたはDG紹介人」

DGを読んでいるときにお友達に来て「それ、なんの本？」と聞きました。そのお友達にDGはこういう本だよと紹介してください。

今回は7周年の記念号となりますので、DGについてのご意見などもちゃんちゃんお願いしますね。

阪神に夢中になってる間に

おっといけない、DGは7周年ですよ！

10年先も20年先もみんなで続けていけたらいいですねー。

では次号7周年記念号をお楽しみに！

2006年10月12日発行

発行人 読書を楽しむ会

印刷・製本

c's 工房 &

M's factory

表紙は語る
表紙は語る



木々 風 土 海 波・・・
自然と共に歌がある